

令和4年7月

ご関係者様各位

一般社団法人 日本猟用資材工業会

## 2022年度狩猟用散弾実包及びライフル実包に関して

当工業会には、2022年度の狩猟用散弾実包及びライフル実包の供給に関して、数多くのお問い合わせを頂いています。このため、当工業会を取り巻く環境と今後の見通しに関して、下記の通りご報告させていただきます。

### 記

まず、米国では、2020年にコロナ感染拡大防止対策として実施したロックダウン等より、原材料の供給網（サプライチェーン）が混乱し、あらゆる製造業で大幅な製造遅延が発生しています。更に、2020年の米国大統領選挙に伴う混乱などに起因する政情不安を背景として、銃器・弾薬関係の新規需要が急拡大しています。このため、米国内への製品供給圧力に押され、輸出余力が減少している可能性があるかと推定しています。更に、海上輸送コンテナの不足が、日本への輸出停滞に拍車を掛けています。

同様に、欧州においても、2020年に実施したロックダウン等により生じた供給網混乱の影響から脱しきれず、需要が製造量を上回る状況が継続しています。更に、ロシアのウクライナ侵攻は、欧州域内の交通網の混乱に拍車を掛け、欧州域外への輸出遅延を引き起こしています。

上述した状況の中で、2020年度上期後半から影響が出始めた散弾実包やライフル実包の輸入不足に対して、会員企業各社は、国内需要に応えるため、保有する在庫を全て供給に回して対応して参りました。しかしながら、欧米からの輸入環境に未だ改善は見られず、各社とも輸入調達に苦慮しています。このため、現在もなお不安定な供給状況が続いています。また、国産装弾用部材の輸入調達も滞っていることから、国産装弾も安定製造が厳しい状況が続いています。

現時点で、この不安定な供給状況から、いつ脱却することができるか、はっきりとした目途がつかないのが現状です。

当会会員会社は、散弾実包及びライフル実包について、昨年度並みの供給量を確保することを目標として、日々供給元と交渉を続けていますので、現下の状況をご理解賜りたくお願い申し上げます。

### \*お 願 い

ご使用になられる狩猟用装弾・ライフル実包につきましてはお取引のある銃砲火薬店にお問い合わせして頂くようお願いいたします。

以上